

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第121期幹部予定者課程卒業式、並びに第77期公募幹部課程修業式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様、並びに公募幹部課程を修業される皆様、本日は誠におめでとうございませう。また、御家族・学校関係者の皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

今、こうして皆様の、規律正しく、凜とした姿を拝見いたしますと、ここ江田島で過ごされた日々は、厳しい中にも達成感を感じられる、充実したものであったと推察いたします。

私は、崇高な使命を担われている海上自衛隊の皆様、心から敬意を抱いております。皆様にはこれからも、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ幹部候補生学校で学ばれたことを誇りとし、それぞれの専門分野において、豊富な経験を更に活かして御活躍いただきたいと願っております。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境に目を向けますと、東アジア諸国の動きがたびたび報道されているところです。北朝鮮では11月29日に新型の大陸間弾道ミサイル「火星15」の発射実験が行われました。また、隣国との国境に係る問題は、未だ解決の糸筋が見出せないばかりか、強制的な上陸や占拠など、我が国として看過できない事態も発生しております。

こうした中、今、この瞬間も、洋上、海中、空、陸上において、自衛隊員の皆様、懸命に任務に就いていただいていることに、心から感謝申し上げます。

どうか、本日御卒業される皆様におかれましては、この国の将来を担う、立派な指揮官になってくださることを、心よりお祈りしております。

皆様御存知のとおり、ここ江田島は、明治21年に旧海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和31年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至るまで、共存共栄、一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との「縁」を大切にしてきた地でございます。

皆様も、江田島市を第二の故郷として、折にふれ訪れていただければ、市民一同、心から歓迎申し上げます。いつの日か皆様とお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成29年12月19日

江田島市長

あきおか しゅうさく
明岳 周作